日刊【1】「除月曜」 昭和25年10月6日 第三種郵便物認可 昭和26年7月17日 運輸省特別扱承認第684号

磐城日日 昭和28年 1953年 7月18日 土曜日） 第886号

磐城日日

發行所
磐城日日新聞社
福島縣小名浜町渚廻51
電話代表387番
編集兼發行人 長瀬壽一

急募
印刷工（經驗者）
小名浜町
長瀬印刷株式會社
TEL219・387

合併問題に見る鹿島村の表情

町村合併問題は縣下一齊に活發な動きを見せ、石城地區でも十八日地方自治確立推進審議会が誕生して合併促進に積極的な活動態勢を整えたが、常磐産業圏の要衝湯本と小名浜の三角点にあつて両者から猛烈な狭撃勧誘を受けている鹿島村に、二千五百村民の合併への表情と、村当局並に議会人の動きを打診〝世紀の花嫁〟〝鹿島〟の不安と焦燥と一部諦觀に流れゆく心理を解剖してその動態を捉らえてみよう（梅）

村下全區長に説明

合併具体化へ前進の一歩

小名浜町の合併正式申入れ以来、地方合併推進機関の設定など慌しく動き出した合併機運の客觀的諸情勢に、鹿島村ではさきに公式申込みに接している湯本町との問題もあり「自立堅持か合併か」の村態勢を決する命運に逢着して、俄かに活發な動きを始め去る八日村会協議会を開催、志賀議長ら

まさに合併問題への態度確立の秋なりとして各議員に計つてその結論を求めたが

議会の一本化、村民啓蒙等により合併を推進しようとする空氣が相當濃厚に醸成されるに至つた、さらに同村では十六日村役場に村下全區長十二名を招集、村議会志賀久馬議長以下各部常任委員長六名が出席して、合併問題に對する説明懇談會を開き

今日に至る合併問題への經過、合併調査委員による、湯本 小名浜の町勢諸事情をはじめ諸般の合併問題に關する詳細を説明

活發な區長たちの諸質問に答へるところあつて合併問題への動向は日を追つて大詰えの結論到達に具体化された歩みを前進しつつある――

〝簡單に結論出ぬ〟

一部有力村民らの聲

かくて區長は各自部落民に今日の説明内容を具さに報告、部落民の同問題に對する總意を纒めて本月末迄に各部落の見解報告を兼ねて新たに協議会開催の運びとなつてるが斯うした情勢下部落民中堅層或いは主腦婦人層、乃至一部元老たちは如何なる見解を持つているか

某 元 老 談

鹿島村としては村政史に終止符を打つ重大関頭にある問題だけに、座談的には簡單に諸種の意見が吐き出されようが いざ決定の線を出さうとすると容易に決心がつかないというのが村民心理の実狀とみている、わし自身單なる村への愛着とか、感傷とかいう氣持を拔きにしても 正直にいうと現狀維持の自立態勢推進の氣持である

某婦人の辯

非常に保守的な村だからわけても婦人たちはハッキりした見解を表明する人は尠いです、地区的に南部は小名浜に 西部は湯本にどうせ合併するなら動きに便利な町と合併した方がいいというような單純な考へが多いのではないでしょうか

某、某、中堅層談

合併推進論者と自立現狀維持派との数は單に數的には合併贊成者が多いと見ている、莫然とながら時流というものに對しての順應精神の現れであらうが

しかし今日迄明確に合併問題への解決線が打ち出せず燻つているのは、自立線を強行せんとする一部少数者の根強い潜勢力が大きく左右していると自分はみている、簡單にどちらかに合併するという線は仲々出ないと觀測している

斯くて進展線上にあると見られる合併問題もまだ〳〵樂觀出来ぬ情態がみてとれ前途はまだ遠いようだ

☆自殺論☆

＝鈴木フミ子の死を回って＝

緋谷耿介

地方版の最大記事として讀者の關心をそそつた鈴木フミ子の死 彼女は何故鐵路に消えねばならなかつたか、教壇人として私なりの解剖を試みてみる

死ぬということはこの上もない馬鹿げた話なのだが、馬鹿げた話だとして一笑にふすことの出來得ない所に、大きな社會問題として取材されるのである

自殺という追いつめられた最期の路を選ばなければならなかつたからには その奥深くひめられた理由がなければならない、師慕－戀愛－苦悶－自殺 紙面に於ける死の誘導体が、眞實とするならば、教壇人としての思想 行動が、新たな方向に位置ずけられなければならなくなる

伸びきつた身体が、横にはばつて女性としての肉体の美しさを如實に發揮し初めるのが中学三年の時代である 彼女のとうした人間像の片輪すら知る由もないが 和田氏への慕情の發露はあつたに違いない、それが音樂に立脚して（とは言え和田氏は音樂担任教師ではなく社会 体育教師である）一層の距離的短縮がなされ異性愛にまで發展したことは想像される、ととで和田氏との生活関連が斷たれたとするならば別な面で問題が考えられるが、高校生活二年半、死の寸前まで和田氏との接觸が成立していたのである、ここに問題がある

小田川村に行く約束をしておき乍ら一人で和田氏は先に出かけてしまつた 洗濯を手傳うと言つて斷られたと言うことが、乙女心の一途な考えから死を選んだとジャーナリストは書いているが、少くともとのようなことは、自殺の撰擇條件にはならない、「思春期の乙女は感じ易い」「美しいものを求める」で大人は終止符を打ちたがるが、決してそんな生やさしい問題ではない あらゆる神經の末端に思考の針をとげ考えるのである、そこには彼女等の持つ獨自の鮮明さと脆ちゆうがある とこに孤獨と苦惱が現出する

こうしたプロセスを感知し眞に助言の糸を垂れてやるのが、教師であり これがなかつた（和田氏の言よりそう解するより外にない）所に又疑問をもつものである、たとえそれがあつたにしろ死という結果から考えて誰もが一應はもの極めてありきたりなお座なり文句であつたのかも知れない

最も手近な自殺の原因を知る彼女の日記の一部がのつていたが 讀者に興味欲を起させる部分の掲載としか思われない、勿論別な方途からの思考からすれば、山崎富枝という女性が太宰の中に生き文学と現實の葛藤に悶え玉川上水投身自殺の期を早めたことにも 太宰文学に傾注したことと一面の関連性はある 又藤村（あくまでも文學として）を讀みあさつた事實から推測して如何なる外面的 又は内面的な彼女への愛情の手がさしのべられたとしてもすでにそれらは視覺外で「死」という肉体の塊だけが存在していたのかも知れない

高校生とかつての教師、然かも彼女の父は小学校の教師であることに深く考えさせられ、人間形成の場にのぞむ教壇人としての眞意に深く思いを至すものである

―一九五三、七 一五―

県下國立療養所従業員体育大会

廿四日から小名浜で

縣下國立療養所従業員体育大会は二十四日と二十五日の二日間小名浜高等学校に於て毎日午前八時から開かれる

參加チームは豊間緑ガ丘、若松、須賀川、郡山の各療養所従業員で野球、卓球、庭球、バレーなどの対抗競技が行われ、優勝カップ争奪をかけてその熱戦が期待されている

磐崎校長会

磐崎村内校長會は十五日午前十時から村内長倉小学校で開き▽磐崎村教育課程作製について▽夏休み生活指導について▽職員訓練について▽廿九年度教科書採擇について

三代氏など表彰

海事功勞者 海の記念日に

東北海運局小名濱支局、小名濱海上保安部では二十日第十三回海の記念日に當り海事関係者らの表彰式を午前十一時から小名浜地区漁業協同組合講堂に於て行うことになつた、表彰者は次の通り

▽海事功勞者＝三代義勝（小名浜漁協組）箱崎榮（中ノ作底曳）

▽海難救助＝吉田豊治（第八源海丸）

▽造船関係永年勤續者＝小野安吉（又新造船所）鈴木宗一（中の作造船所）松本壽明（藤社造船所）宮本市郎（中の作鉄工所）

▽港湾荷役関係功勞者＝大平正男（小名浜埠頭KK）

▽水難救護事業功勞者＝菊田敏（日本水難救護会縣支部）

▽海上保安業務功勞者＝菊地要重郎（原釜救護所）

▽人命救助者＝第三清榮丸船長鈴木新一ほか乗組員 江名水難救護会、寶泉丸船長佐藤熊太郎ほか乗組員・小名浜水難救護会・佐藤多助、永山登、笠間新吉、田所実（以上小名浜水難救護会）

▽無事故船＝第一寶勝丸（中村漁協組）第二龜鶴丸（四ツ倉底曳）第三三好丸（久の浜漁協組）

視察者と懇談会（湯本一小）

十七日宮城縣柴田郡教育委員会委員一行は湯本第一小學校を訪れ、兒童生徒の健康、授業狀態を見学したほか終つて懇談会を開いた

＝18日マデ＝
將軍を狙う女
女難街道
上映中
金美館

募集 外務社員数名
年令30才以上（男女可）
本人履歴書営業所宛郵送下さい

月拂で家が建つ
堅実本位の日本建物
建築の福音!!
家が月掛で抽籤も入札も無く早く申込めば早く建つ東北の月賦建築住宅は基より店舗工場増築改装修理一切大小に拘わらず賣貸地相談にも御利用下さい
御結婚にはぜひ月払証券御持参で!!
御申込み次第営業案内御送り致ます
建設大臣登録（ロ）第九六二号
平市大町三番地（電五八〇）
日本建物KK平營業所
所長 大樂 弘
本社 仙台市
管内出張所
湯本町三函一五〇 電話二〇三・一三一番
小名浜町下町一八
稲田町字本町 電話六二番
專属工事人・連絡所
小名浜町上町五六
小名浜土木株式会社
一級建築士 坂本二郎

歴例的人氣のニューデザイン
紳士靴
婦人靴
は菅原
小名浜町古港 電話（呼）625番

輪界ノ名門 第一位通産大臣賞受領
マグネット号自轉車
代理店
强力トヨモーター及び各種モーター取扱店
只今月賦販賣の御相談に應じます
高橋自轉車店
小名浜町横町（マスガタ）

絶好の撮影シーズン來る
カメラを肩に海に山に!!
カメラ
寫眞材料
現像、引伸
伊勢丹カメラ店
小名浜町古港三
電話四〇四番

内科
小兒科
會田醫院
院長 會田 亮
小名浜町横町（電一四八）

地鎮祭もおごそかに 廳舍實現へ第一歩

草野社長自ら陣頭指揮

小名浜町役場廳舍新築地鎮祭は十六日午前十時から諏訪神社小名川宮司の司祭で厳かに行われた

役場廳舍は先きの入札に於て、全國有數の業者に伍して堂々と落札した常磐土建が、地元業者の面目と榮譽を一身に担つて營々その準備を進めて來たが、十六日の吉日をトし、地鎮祭施行の運びとなり午前十時水野町長以下役場各課長、長瀬建築委員長以下全建築委員、町内各團体官公衙長ら百余氏列席して小名川宮司の修祓で莊厳裡に地鎮祭を執行、水野町長の鍬入れで、槌音高く愈々廳舍建築の本格的工事に着工することになつた

常磐土建はこの町民の總意によつて町民一人々々の協力で完工しようとする廳舍新築に當り、その與望に充分に應えようと社長草野氏自ら陣頭に起ち、現代科學の粋を網羅しこれが、技術を總動員して施工に當つており、小名浜町のシンボルともすべき廳舍は日一日と町民の希望と共にその姿を現わしてくる事になつた

湯本一中の巡回学校

湯本町第一中学校の「夏期巡回学校」の第一回は二十日から二十二日まで二泊三日間江名中學校で開かれる、全校では共同生活によつて心身の訓練を圖るもので第一回は三年生、第二回は二十二日から二十四日まで一年生第三回が二年生で二十四日から二十六日までとなつている

海上角力など 多彩な海上行事

小名浜港まつり迫る

小名浜町恒例の港まつりは多彩なスケジュールのもとに愈々廿日が蓋開きであるが、例年珍奇な催しものをやつて浜つ子の度膽を奪つている小名浜地區漁協組では、港まつり委員会と共催で今年も變つた催しを繰擴げることになつた

▽二十日午後七時から豪華な懸賞をかけて「假装盆踊り」を行う、誰れ彼れをとわず參加者全員に參加賞を贈る

▽二十一日午前十時から三千噸岸壁で旋網船の漁業實演を行う

▽二十一日午前十一時から魚市場前でカツオ一本釣競爭を行い、これも入賞者に懸賞を贈るほか、參加者全員に參加記念賞を贈ることになつている

▽二十一日午後一時から魚市場前の海中で「海角力」を行う、これは一般の飛入が特に歡迎される珍海相撲として昨年から小名浜の名物の一つになつた

▽二十二日午後八時から全組合講堂で映画を三時間に亘つて行うことになつており、特にカツオ一本釣競爭、假装盆踊りは最初の試みだけに相当の前人氣を呼んでいる、また小名浜港以来の大行事である旋網操業実演は空前のことでもあり期待が大きい

湯本自勞も 夏期攻勢

夏期勞仂攻勢の波に乘つてか先きごろ平自由勞組員が要求貫徹まではと市役所前にすわり込みをやつていることは本紙既報の通りであるが、今度は湯本自治勞組員三百六十名が十五日夏期手当を陳情書によつて要求して注目されている

容共派とみられている湯本自治勞組（組合長西原新七氏）は十五日町議会に対して夏期手當一人千円の陳情書を提出した従前の要求書とは違い底知れぬ強硬なところがうかがわれており、また平内郷の自由勞組とも密接な連絡をとつており、町當局も愼重を期して對策を講じている

なお勿來、小名浜、湯本平、川邊の反共からなる石城自由勞連でも湯本議会に盆手當一人当り三千円、盆月中完全就勞、平均賃金即時引上げ、健康保險の即時実施、失業保險の支給率引上げなどの申入書を出しており、結果が注目されて來た

新版『糞尿譚』（湯本）

肥料飽和で人糞の山

湯本町は町勢の發展に伴い飛躍的に膨張する人口と共に當然その排泄物も膨大な量にのぼつているが近村の農家は金肥も充分に出廻り肥料には不足のない今日わざ〱遠くまで汲取りにくる事を喜ばず、さればといつて物が物だけにやたらに散らかす譯にもゆかず その處理問題が深刻な悩みとなつており、「一ぱい二十五圓」説や「糞尿汲取株式会社設立」の珍説までとび出して笑えぬ笑話を提供しているが、町長並に關係委員の間に腹案がなり、愼重檢討の上近く適切な方策を実施することになつた

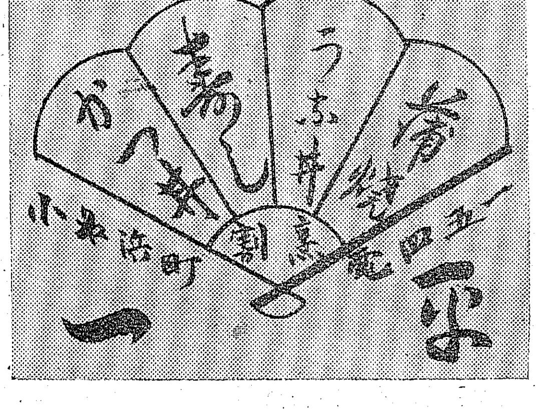
洋傘専門
高野昌平商店
小名浜町中島

西日本水害

小名浜商工会も動く

小名浜町商工会では町と呼應し〃西日本の水害者を救え〃と各商店に呼びかけていたが、十七日雜貨類などその數四百五十余点の義捐品が集まつたので早速この温情を水害地の人々に送ろうと町役場を通じて發送した

品質本位 [illegible]の店
樋口呉服店
小名浜町 [illegible]



募集!!
百両宣傳部＝アナウンサー
百両宣傳部のスピーカーを町内各商店の廣告宣傳其の他に御利用下さい
使用料は一切いただきません
無料サーヴイスです
湯本の百両

魚菜市況 17

「小名浜中央青果市場」大根四〇～八〇たまな六七～九〇玉ねぎ二七～三五馬鈴薯二〇～五〇南瓜三〇～八〇トマト一〇〇～一三五なす一二〇～一七〇西瓜一五〇～一六〇人參三六～四〇さつま七〇～八〇きうり五〇～九〇なた豆九〇～二五一午蒡一九〇～二〇〇卵一一三「魚市場」あじ四〇～八〇小鯛九五〇すゞき五五〇九〇〇わかめ三三〇かすご

天氣豫報 18

「本日」南寄りの風曇りで朝晩は小雨の残るところもあり後晴れ間が見えて來ましよう「海上」南寄りの風一時やゝ强く風波がたち視界が悪くなりますから漁船は御注意下さい

關＝西＝新＝緑 終

小名高短歌會作品

靈地をば尙淨化する蟬二つ神靈に迄とどくその聲

去り難き奈良を車窓に捨つれども山三つ越え鐘耳に鳴る

紫の筆に生れし源氏の君雄筆の故郷石立てる寺

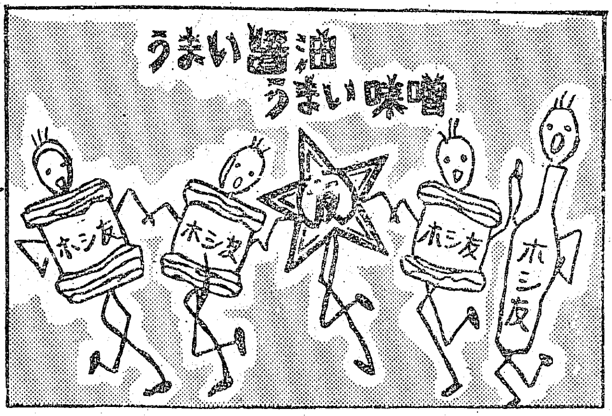
旅醉の三條の橋は灯にゆれて戯るゝ柳はだらり帯に似る

又も雨何の縁か東の京あゝ可かるべし雨一興を持つ

檜山 英光

パインミシン・福助ミシン
芝浦ミシン・日産ミシン
外五種類・現金月賦販賣

飯塚ミシン商会
工場 楢山町化合町 電二六八
営業所 稲田町本町 電平一〇七

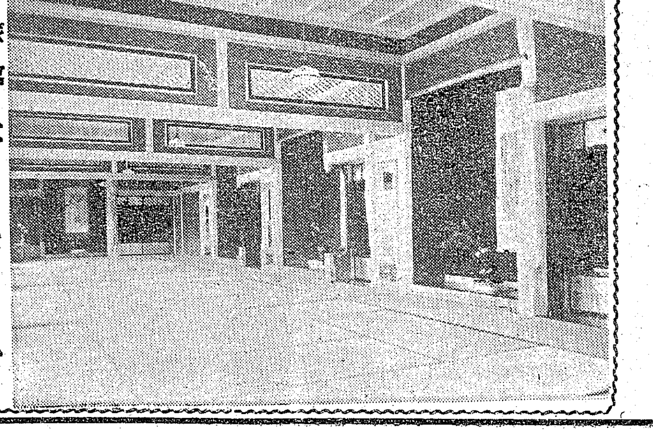


ホシ友醤油株式會社 社長 星 友太郎

小名浜短歌研究会 七月例会のお知らせ

一、日時 七月十八日（土）午後六時半より
一、会場 小名浜町公民館
一、当日会費五十円 新入会者は別に入会金五十円
一、近作二首以内当日持参するか事務所（横町会田医院内）お届け下さい
一、新入会員を募集します

小名濱短歌研究会長 野崎梅子
後援 磐城日日新聞社

弊館新築の粋を凝らした別館大廣間

旅館割烹 若葉館
小名浜町隼人水素驛前
電話三五〇番
◉御座敷女中募集（若干名）

港まつり協賛
特別奉仕中!!
牛乳石鹼宣傳特賣
化粧品百円以上の品一品毎に牛乳石鹼（二十円）一個呈上
全店新品と入替特別奉仕
越
藤越
小名浜 電五六一

經費をかけずに良い品安く
ゆかたとかやの季節
かや、太綿、片麻、本麻
東京本染ゆかた各銘柄品
パラソルと洋傘学童用傘
レインコート絹ビニール
男女雨靴運動靴サンダル
丸首メリヤス女性着各種
婦人帽パナマ帽ミルキー
開衿シャツ替ズボン特價
化粧品柳屋メヌマジュジュユベリオ 80.9
野球卓球庭球用品各種
海水着海水パンツ海水帽
菓子切手葉書印紙たばこ
お買物には先づ平マーケットを想出して下さい私共は常に貴方の御相談相手として待機しています
皆様の店
平マーケット
小名浜第二小学校前 電二九七
チケット歓迎